

# 日本国際交流センター（JCIE）について

（公財）日本国際交流センター  
執行理事 伊藤 聡子

# 今日お伝えしたいこと

1

## ABOUT JCIE

日本国際交流センターとは？

2

## VISION, CORE VALUE & MISSION

ビジョン、ミッション、私たちが大切にしている価値

3

## PROGRAMS

JCIEの事業の柱

4

## WORKING ENVIRONMENT

スタッフ構成、働き方、オフィスの風景

5

採用選考について

# 日本国際交流センター（JCIE）とは



写真：1990年代から毎年継続している日韓の政策対話

- ◆ 1970年設立 **民間外交**のパイオニア。民間レベルでの国際的な政策対話と協力を推進する公益法人
- ◆ 国際社会の安定と発展は、政府による外交のみならず、**様々な民間アクターの参画によって強化されるべき公共財である**という信念のもと、地球的視点に立ち国内外の諸課題解決に貢献する。
- ◆ 東京と米国ワシントン・ニューヨークを拠点に活動

## ◆ VISION

国際社会の平和と持続的・包摂的な発展

## ◆ CORE VALUE（私たちが大切にしている価値感）

非営利、独立、不偏不党の立場を堅持するとともに、人の尊厳、自由、人権、及び多様性の尊重が、事業を実行する上での中核的価値である。

誠実であること、公正であることを行動指針とする。

ビジョン、ミッションの正式文書はこちら⇒



## ◆ MISSION

- ✓ **「人間の安全保障」**の視座を尊重し、多様な脅威から人々の生存、生活、尊厳が守られる社会の実現に寄与する。
- ✓ グローバルな連帯を通じ、地球規模課題の解決における**日本の国際的役割の強化**
- ✓ **カタリスト（触媒）の役割**を果たす
  - 一つの専門分野にとどまらない総合的な英知を結集しイノベーションを促すためのカタリスト
  - 政・官・産・学・市民社会のリーダーの参画をうながす官民連携のカタリスト
- ✓ 地球的な視野によるJCIE事業を通じて国内の課題解決に貢献し、**閉塞した日本社会を変革する担い手**となる。

1

グローバル  
および二国間での  
政策対話

(定期的な対話・  
テーマ横断)

2

個別グローバル課題の解決に向けた取り組み  
(政策アドボカシー、政策提言、対話、人物交流)

自由・人権の  
尊重と  
民主主義の擁護

グローバルヘルス

グローバルな  
人の移動

女性の  
エンパワメント



政治家のエンゲージメント：すべてのJCIE事業の基盤として政治家の参画を促進

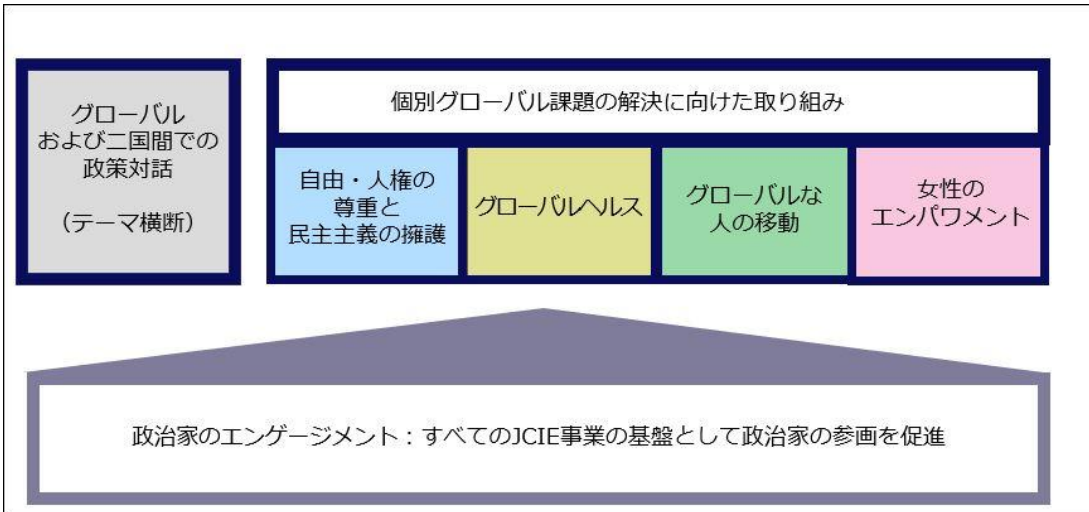
(日米議員交流、議員勉強会、議員グループ、政策対話への議員の参加 等)

3

1



2



3



# グローバルヘルス分野の3事業

★ 今回募集ポスト



## ★ グローバルファンド日本委員会 (2004年～)

- ◆ 感染症（三大感染症、COVID、保健システム強化）
- ◆ アドボカシー
- ◆ 意識啓発

## グローバルヘルスと人間の安全保障 (2007年～)

- ◆ グローバルヘルス全般
- ◆ 政策提言
- ◆ 日本の政策形成を後押しするプラットフォームの運営

## ★ アジアの高齢化と地域内協力 (2017年～)

- ◆ 高齢化（保健医療、社会保障など）
- ◆ 表彰事業
- ◆ 情報発信



## オフィス風景



2019年撮影

## 役職員

人数：21名（2023年8月現在）

年齢：30代半ば～40代が最多年齢層

男女比：1:2

## 働き方

オフィス勤務（週2～3日）と在宅勤務の併用  
フレックス制度 導入中

オフィス内会議室



# 採用選考について

## ◆選考プロセス

締切：8月25日（金）

1次選考：書類審査、2次選考：面接・筆記試験（締切を待たずに選考を開始）

## ◆求める人物像

JCIEのプログラム担当者に求められるのは、国内外の専門家、実務家、国会議員や政府関係者などと協力しながら事業を遂行していくコーディネーターの役割です。一定程度の専門性は求められますが、ご自身で専門分野を追及するというより、幅広い調整力・コミュニケーション力がある方が適しています。（応募要綱より）